

# 学規

## (安岡正篤先生)

一人と成るは、教おしえを聞き、学を修め、業を習うにあり。

二教は、人の善を長じ、その失を救うものなり。

三学は、自ら窮するも苦しまず、憂うるも心衰えず禍福終始を知って惑むねわざるを旨となす。

四業は、日に新あらたなり、己を虚むなしうし、旧習に泥なすまず自じぎ彊息ようやまざるべし。

五文明は、誤あやつて亡び易し、人は常に素朴を愛し自然の理法を学ぶべし。

六日常の行事を慎いそむべし、思想言論は往々己を偽いつわり人を誣しひ易やすし、小事かえ却かえつて能く人の真を表す。

七少わかくして学なべば壮にして為なすあり、壮にして学なべば老いて衰えず、老いて学なべば死して朽ちず。